

【法的根拠】
日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領

学校の教育目標

明るく 心身ともに ひとりだちのできる 心の豊かな人間になろう

【地域の実情】
【学校の実情】
【生徒の実態】
【教師の願い】
【保護者の願い】

特別活動の目標	集団の一員としての自覚と責任感を養う			
目指す生徒像	自主 明朗	自ら学び、考え、正しい判断で行動しよう いつも明るく多くの人とかかわろう	品位 友愛	美しい豊かな心と健康な体を身に付けよう 他を思いやり、共に学び、成長しよう
特別活動の重点目標	・学級活動、生徒会活動、学校行事、学年行事等の諸活動への積極的な参加を通して、集団の一員としてのあり方を自覚させ、学業生活の向上を図る。 ・生徒一人一人が活躍する場を与え、集団の一員としての自覚を高め、正しい連帯感と協調性を育てる。 ・学校行事では、体験的学習を重視し、感動体験を積み重ねることによって、豊かな心を育てる。 ・生徒会リサイクル活動、基金活動、老人ホーム訪問など、ボランティア教育の充実を図り、豊かな情操と自分を生かし実行できる力を育てる。 ・地域の人材を積極的に活用し、また、地域の諸行事への積極的な参加を促すことにより地域社会との連携を図り、地域とともに学び将来の生き方を考えさせ、地域を担う人材を育てる。(まちで育つ)			

		学級活動	生徒会活動	学校行事
目標		望ましい人間関係を形成し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。	よりよい学校生活づくりへの参画と協力の姿勢を養う。	集団への所属感や連帯感を深める。
指導の方針		・生徒が自主的・実践的に集団生活を楽しく規律正しいものにしていく態度を育てる。 ・学級の役割を全員で分担し、学級の中で自己実現ができ、所属感や仲間意識を高めるようにする。 ・学級における人間的なつながりを深め、温かい友情を育てる。 ・将来の生き方について自覚を高め、自己を生かす能力を養う。	・学級の実態を見つめ生徒会組織や活動の改善を図り、全生徒のもつ問題点や意見が十分反映できるようにする。 ・生徒会活動全体に調和ある計画を立案し、実践的活動を展開できるようにする。 ・一人一人の生徒が、活動を通して、自主的な態度や実行力を身につけ、協力し合う態度を育てる。	・学校行事の中で、学校の一員としての自覚をもたせ、感動体験を味わうことによって人間としての自分の生き方を考える。 ・学校生活の流れの中で望ましい変化を与える集団活動により日常の学習成果を総合的に発展させ、学校生活を明るく豊かなものとする。
主な指導内容		・学級や学校生活の充実と向上に関すること。 ・個人及び社会の一員としてのあり方、学業生活の充実及び健康や安全に関すること。 ・将来の生き方と進路の適切な選択に関すること。 ・食に関すること。 週的时间割に位置づける。 毎週の月曜日1校時	・専門委員会 生活、整美、図書、保健、給食、放送、体育 ・中央委員会・学年委員会 ・生徒会行事（生徒総会等） ・生徒会朝礼 ・リサイクル活動 ・基金活動 ・介護施設訪問 ・専門・学年・中央委員会 月1回 ・生徒総会 年1回 ・生徒会朝礼 月1回	・儀式的行事 （入学式、卒業式等） ・学芸的行事 （文化祭等） ・健康安全・体育的行事 （運動会、連合陸上大会、避難訓練等） ・旅行・集団宿泊的行事 （修学旅行、林間学校等） ・勤労生産・奉仕的行事 （大掃除・美化デー等）
他の教育活動との関連	各教科・読書科	国語科をはじめ各教科の学習を通して、学級活動における話し合い活動、言語等による表現や発表などが円滑に行われるようにする。	国語科をはじめ各教科の学習を通して、中央委員会や専門委員会における話し合い活動、言語等による表現や発表などが円滑に行われるようにする。	運動会については、保健体育科の学習成果の発表としての視点を明確にする。文化祭については、音楽科や美術科、国語科、社会科、技術・家庭科などの学習と関連を図る。
	特別の教科 道徳	協力して集団生活の向上に貢献しようと努める態度を育てる。	自ら考え、責任を果たし、自主的に行動できる態度を育てる。	集団の一員としての自覚を高め、奉仕する実践的な態度を育てる。
	総合的な学習の時間	学級活動で育成する集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度と、総合的な学習の時間で育成するよりよく問題を解決する資質や能力を相互に役立たせるようにする。	生徒会による諸活動を実践することを通して、自分とのかかわりを視点とした問題発見能力、課題解決能力などを育成するとともに、これらを総合的な学習の時間に役立てるようにする。	学校行事を通して学校や学年・学級への所属感を深め、望ましい人間関係の形成や公共の精神などを養い、総合的な学習の時間での学習を円滑に行うようにする。
家庭や地域との連携		地域の人材を積極的に活用し、また、地域の諸行事への積極的な参加を促すことにより地域社会との連携を図り、地域とともに学び将来の生き方を考えさせ、地域を担う人材を育てる。	老人ホーム訪問などを通して、ボランティア教育の充実を図り、豊かな情操と自分を生かし実行できる力を育てる。	家庭や地域の人々との連携を深め、その教育力の活用を図る。
備考				